

＜第4議案＞

2026年度収支予算（案）

15 ページに 2026 年度収支予算案を示す。

＜全体説明＞

2025 年度の赤字決算（－200 万）のうち、夢ファンドの寄付金約 130 万が 2026 年度に計上される予定だが、それでも 70 万近い赤字となっている。2026 年度は単年度収支バランスをめざすべく、上記の寄付金を除いた収益を 2025 年度で 1150 万程度、実際には 1280 万程度と見積もる。一方、費用を微増（1150 万）とすることで単年度黒字をめざす。

1 収益の部

1.1 会費収入

会費は、会員数の増加などにより全体で 25 年度決算（356 万円）に比して 30 万円の増額となる 389 万円を目標とする。会員数、学生割引会員など全体で 10%程度の増加を見込む。レポート定期購読者（ウェブサイトでの購入を含む）の収入も 10 万円増の 50 万をめざす。

1.2 事業収入

事業収入は 25 年度決算比約 50 万円の増額を見込み、466 万円とする。

- 『ピース・アルマナック』の販売収入は微増の 150 万円を見込む。
- 「講演・執筆・出演」「情報サービス・調査受託」「公開講演会・セミナー」の収入はそれぞれ増収を見込む。
- 「その他の事業収入」として、クラウド・ファンディングで 20 万円を目標とする。

1.3 寄付金収入

寄付金も 25 年度決算の 93 万円から 7 万増の 100 万円をめざす。

1.4 助成金収入

「よこはま夢ファンド」への助成金申請（財源は同ファンドへの市民からの寄付金）によって 200 万円の確保を目指す。昨年度からの繰り越し（130 万）を加えて、今年度は 330 万円の予算となる。

2 費用の部

費用全体は、事業の組み替えで事業費を削減する（626 万から 593 万）。一方、新たに管理費は事務補佐員の採用で増加（476 万から 550 万）することで、25 年度（1112 万）から微増の 1150 万程度に抑える。

2.1 事業費

- 人件費、出版事業費、海外活動派遣費は、ほぼ現状維持。
- 『基礎講座』（公開講演会・セミナー）は「脱軍備・平和ダイアログ」に衣替え、「脱軍備・平和レポート」は「平和への提言（Voice for Peace）」に改編し、発行回数削減で減少、一方で『核兵器・平和情報モニター』の費用を追加。北東アジア非核化プロジェクト、非核自治体講演ツアー、研究費の予算を新たに追加。「事業委託費」は、現状維持。

2.2 管理費

- 人件費は、非常勤職員 1 人に加え、事務補佐員を追加し、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込み、現状から約 60 万増の 278 万円とする。
- その他費用は 2025 年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ 274 万とした。

＜次世代基金＞

26 年度はウェブサイト更新費用として 80 万を支出することとした。